

# 平成23年大磯町議会

## 6月定例会一般質問（6月1日・2日）

質問議員	質問事項（1日目）	答弁者
<p>1 16番 鈴木 修議員 (50分) 9:05～9:55</p>	<p>1. 幼・小・中の生活関連情報の共有、連携について 3月定例会の一般質問に対し、「一貫した生活指導の在り方についての研究は十分ではなかった。教育委員会としてももう一步踏み込んだ形での連携を検討していきたい」との答弁いただいたが、この件について、その後の進捗状況はどのようなになっているのかを伺う。</p> <p>2. 町の危機管理体制について (1) 今回発生した未曾有の災害を目の当たりにした時、町長として大磯町では何をすぐに着手すべきかについて、そのお考えを伺いたい。 (2) 今回の東日本大震災規模の緊急事態発生時、本庁舎が機能不全に陥った事を想定し、災害対策本部として情報の収集、発信を一元化出来る指揮発令所（消防本部を含む）を安全な場所に設置する考えはあるか。また、本庁舎並びに消防本部の全面移転までも考慮する意向はあるか。 (3) 本庁舎が無事であったと仮定して、近隣住民等が一時避難場所として逃げてきた時にも、普段から各フロアの階段部分に海拔表示を掲示し、安全な場所を提示する考えはあるか。</p> <p>3. 本庁舎横に建設予定の葬場について 過日行われた議会報告会でも、町民から質問があった葬場建設計画について、住民の反対署名運動やのぼり旗の設置等反対の声が高まっている中、町と開発予定業者間での事務作業はどこまで進んでいるのか。 また、町が用地買収等の考えはあるか。</p>	<p>教育長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p>

<p>2</p> <p>11番 竹内恵美子議員 (60分) 10:15~11:15</p>	<p>1. 防災の町 大磯にするために 大磯町でも東日本大震災の教訓を活かして、今までの地震対策や津波対策の見直しが必要です。進捗状況は。</p> <p>(1) 災害対策本部となる町役場は大丈夫か (2) 地域防災計画の見直しは (3) 避難経路はどのようになっているのか (4) 公共施設の安全対策は (5) がけ崩れ対策は (6) 消防署、消防団への応援対策は (7) 高齢者、障害者や乳幼児への要援護者対策は</p> <p>2. コミュニティバスの運行事業について (1) 現在の問題点は。 (2) 今後進めるために見直しはあるのか。 (3) 東小磯、西小磯は外部の専門家を入れ、平成23年10月を目途にと言ったが進捗状況は。 また、寺坂地区への運行、乗り入れは可能か。</p> <p>3. 生沢プールの跡地利用について プール取り壊し工事が終わりましたが、その後の進捗状況は。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p>
<p>3</p> <p>10番 浅輪いつ子議員 (45分) 11:15~12:00</p>	<p>1. 安全安心のまちづくりのためにまちづくり条例の見直しをすべきではないか (1) 開発構想の周知等及び近隣住民への周知に関して (2) 公園、緑地又は広場の整備を金銭をもって提供することに関して (3) 近隣住民の範囲 (4) 大規模建築物の敷地と道路との関係 (5) 葬儀場建築に関する条例の制定</p> <p>2. ごみ減量の戦略は (1) 今までの取り組みと成果 (2) これからの目標と方法 (3) 「おいそ廃棄物減量化等推進員」に期待するもの</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p>

<p>4</p> <p>15番 土橋 秀雄議員 (60分) 13:00~14:00</p>	<p>1. 大磯町の設置基準を問う 日吉跨線橋に安全施設を設置と広報に掲載されておりましたが、かねてから地元の要望が強い六所神社から国道に向かうJRをくぐるトンネルには、現在まで対応がされておられません。何故対応が出来ないのか、おきかせ下さい。</p> <p>2. 子育て支援総合センター周辺道路の今後の道路計画は 子育て支援総合センター周辺道路は、地域住民の生活道路として現在満足のいく状況ではございません。今後の方向をお示し下さい。</p> <p>3. 国府中学校スタンド及びテニスコートの補修は、早急な対応が必要 国府中学校グラウンド整備は今年7月以降、来年平成24年2月終了予定と発表されましたが、スタンド(観覧席)の補修が先おくりとなりました。 又、かねてより要望が出されておりましたテニスコートの補修も先おくりとされました。 大磯町の今後の考え方をお聞かせ下さい。</p>	<p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長 教育長</p>
<p>5</p> <p>2番 清水 弘子議員 (50分) 14:00~14:50</p>	<p>1. 鳴立庵西側の葬儀場建設の白紙撤回を求める 近隣の町民の方はもちろん、町のランドマークの鳴立庵、最も交通渋滞が激しい場所で危険であるとの声やこの場所はふさわしくない場所であるとの声が多くの方からあり、いかに町民の方が鳴立庵を愛しているか。町長は解決の糸口を話し合いで見つけたい。努力すると回答された。 その後、事業者と交渉されたかどうか。その内容はどのようなものか。 多くの町民の期待にこたえられるものか。</p> <p>2. 通学路の子どもの安全は守られるか 学校と学校PTAとの協働で通学路点検が実施されている。子どもが落下する危険がある。例えば、危険な場所として石神台入口の橋の欄干が丸くすべりやすいし、縦横にわたした間隔が広い。危険な場所の解消の取り組みはどのようにされているか。</p>	<p>町長</p> <p>町長 教育長</p>

	<p>教育長は3.11 東日本大震災から子どもたちの安全のために、津波対策や放射能汚染について具体的にどのような対応や考えを持たれ、実行されたか。</p> <p>3. 万台こゆるぎの森の保証料1億8,000万円は支払われたか</p> <p>(1) 保証料1億8,000万円を支払わせるために、どのような交渉をされたか。</p> <p>(2) 人工芝サッカー場の完了検査は終わったか。観覧席は撤去されたか。</p> <p>(3) 建物及びサッカー場の排水及び下水はどのように処理されているか。飲料水についてはどうか。</p>	町 長
<p>6</p> <p>12番 坂田よう子議員 (60分) 15:10~16:10</p>	<p>1. 未曾有の大震災がもたらした教訓と対策を問う</p> <p>3月11日に起こった東日本大震災は、国内観測史上最大の規模となり、地震と津波による被害は甚大でした。更に、未だかつて体験したことのない原発事故の恐怖は、自然の驚異の前で人類の英知が如何に未熟であったか痛感させられました。</p> <p>議会は、今回の災害救済に、町を挙げて物心両面でのあらゆる支援を全町民へ呼び掛けるとともに、一日も早い復興を願い支援を行う決議を行いました。</p> <p>まず、町として未曾有の大震災がもたらした教訓とその対策を伺います。次に、町における緊急防災対策事業費の見直しはどう行うのか。また、各方面の救済対策・復興対策を国・県と連帯し行っていると思いますが、その概要を伺います。</p> <p>2. 新教育長に町長公約実現に対する決意を問う</p> <p>町長公約では、町の将来を担う若い人々や子どもたちのための町づくりを「まちづくり構想」として掲げています。その具体的項目として、子育てしやすい町づくり、中学校に給食の実施、人生の達人と子どもたちの交流の場づくりをあげています。それらは如何に実施に向け進行していくか。新教育長の町長公約実現に対する決意を伺います。</p>	<p>町 長</p> <p>教育長</p>

質問議員	質問事項(2日目)	答弁者
<p>7</p> <p>7番 奥津 勝子議員 (50分) 9:00~9:50</p>	<p>1. 災害に強い町づくりを問う</p> <p>甚大な被害が出た東日本大震災で、地震や津波などに対する防災への意識が高まっている。まず、自助と言われる我が家での防災対策、公助と言われる自治体を実施している防災対策、共助と言われる我が地域の防災対策を認識し、私達は普段からの心掛け、準備をしておく必要がある。町では全戸に配布された津波ハザードマップの見直しを、海拔表示板の増加など早く進めると予定しているが</p> <p>(1) 災害時要援護者への対応について</p> <p>(イ) 高齢者、障害者、在宅療養者、生徒児童等への対応</p> <p>(ロ) 情報の把握、共有は</p> <p>(ハ) 避難のシミュレーション</p> <p>(2) 防災行政無線の在り方について</p> <p>(イ) 聴覚障害者への対応</p> <p>(3) 避難通路の確保、安全性は</p> <p>(4) 各地域での防災訓練の在り方</p>	<p>町長 教育長</p>
<p>8</p> <p>6番 百瀬恵美子議員 (45分) 9:50~10:35</p>	<p>1. 文化・芸術振興策の拡充</p> <p>町民が真の豊かさを育むために、文化・芸術振興策のさらなる拡大が必要。</p> <p>(1) 大磯町の特성에応じて活発な議論・運動論を積極的に展開し、町独自の基本指針の作成。</p> <p>(2) 地域に貢献する芸術家・団体を登録するアーティスト・バンク制度の整備。</p> <p>(3) 日本の未来を担う子ども達が豊かな心をはぐくむため、多種多様な文化体験プログラムの充実を再度問う。</p> <p>2. あいさつのできる大磯町のまちづくり</p> <p>あいさつやマナーが大切なことはだれでもわかる。それを実生活に習慣づけることは簡単ではない。あいさつの効用を確認と習慣づけが大切である。</p> <p>町の取り組みを問う。</p>	<p>町長 教育長</p> <p>町長 教育長</p>

<p>9</p> <p>3 番 三澤 龍夫議員 (40 分) 10:55～11:35</p>	<p>1. 津波に対する防災対策</p> <p>我が国の地震に対する防災対策は長年、関東大震災をモデルとするものであり、阪神淡路大震災の教訓も加味されてきた。今回の大震災で津波に対する防災の検討が急務となった。特に海岸沿いに位置する大磯は他の自治体よりもより早く、より真剣に考えなければならない。町長の考えを問う。</p>	<p>町 長</p>
<p>10</p> <p>1 番 山口 陽一議員 (90 分) 13:00～14:30</p>	<p>1. 財政再建と公約実現の具体策は</p> <p>(1) 町長の公約をどう実現するのか (駅前保育所、中学の給食など)</p> <p>(2) 予算の優先順位は正しいか</p> <p>(3) 高齢化対策はどうするのか</p> <p>(4) 観光立町のためにどうするか</p> <p>(5) 組織見直しで職員のやる気は出たのか</p> <p>2. 国府本郷西小磯 1 号線 (マリア道) 拡幅について</p> <p>(1) なぜ急ぐのか</p> <p>(2) 町民の意見をどのくらい聞いたのか (回数と時期など)</p> <p>(3) まちづくり交付金は 100% もらえるのか</p> <p>(4) 総事業費はいくらか</p> <p>3. 防災対策について</p> <p>(1) 耐震補強のための予算を減額した理由は</p> <p>(2) 避難所の備蓄は町民を守れるのか</p> <p>(3) 高齢者への対策は</p> <p>4. 教育長の教育理念について</p> <p>(1) 保護者教育は</p> <p>(2) 担当教師指導は</p>	<p>町 長 教育長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>教育長</p>

<p>11 5番 鈴木 京子議員 (90分) 14:50～16:20</p>	<p>1. 国民健康保険事業について 最近の国保会計の特徴は何か。国保税の値上げは回避できたのではないか。また、おあしす 24 の事業目的との関連はどうか。</p> <p>2. 住宅リフォーム助成制度の導入について 耐震補強やバリアフリーなどに使え、地域の経済活性化にもつながるとして全国的に広がりのある制度を導入する考えはないか。</p> <p>3. 教育委員会の活性化について さまざまな課題を抱える大磯町において自由闊達な議論のできる環境づくりが必要だが、所見を伺う。</p> <p>4. 学校法人国際学園との関係について 課題について新町長として話し合いの結果、是正されるのか。</p> <p>5. 防災について 東日本大震災等の教訓はどうかされるか。津波に対する対応は適切だったか。 また、放射能汚染への対策は。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長 教育長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p>
--	---	--

11名 29問

※時間は、事情により変更になる場合がありますのでご了承ください。